

令和7年度に新たに発生した病害虫

今年度に新たに18病害虫（病害5、害虫13）の発生を認めました。
ここでは一部を抜粋して紹介します。

大豆のクサギカメムシ



子実を吸汁

黄褐色の斑紋、りんごなどの果実も加害

R6はホソヘリカメムシが新発生でした。

小豆・いちご・キャベツのオオタバコガ



花や若莢を食害

R6～7の飛来が多く、加害が盛んだった

なすのマキバカスミカメ



葉が小さいうちに加害するので、展開した葉に穴があく

背中にY字の白い紋はくさい、スイートコーンも加害



ハスカップ・カーランツのチャバネアオカメムシ



果実を吸汁

被害果はしわ、しいなになる



たまねぎの黒かび病



可食部に黒いカビや腐敗

茎葉やりん茎の傷から侵入し、貯蔵中に発症

トマト・ミニトマトの白絹病



株の萎れ 地際には白色のかび、けし粒状の菌核

未分解有機物が多いと発生しやすい

湛水状態で死滅

詳細は北海道病害虫防除所のホームページでご確認ください

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>



連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 予察診断グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp

令和8年に特に注意を要する病害虫

とうもろこしのアワノメイガ



- ・R7加工用や飼料用でも多発
- ・成虫発生は年2回（6上-7中、8上-9下）
- ・加工用、飼料用でも生食用に準じて防除
- ・オオタバコガも防除対象
- ・散布タイミングに注意

てんさいの飛来性鱗翅目害虫



葉を折り曲げ潜む・尺とり・ツヤ感



体色は多様・白線

シロイチモジヨトウ



シロオビノメイガ

通常防除対象：ヨトウガ



R7越冬性のヨトウガに加え、飛来性のシロオビノメイガやシロイチモジヨトウによる被害が多発

- ・飛来時期早まる傾向（HPの飛来情報を拡充します）
- ・通常のヨトウガ防除とは異なる剤選択
- ・シロイチモジヨトウでは複数の薬剤に感受性低下

大豆の大型カメムシ類

ホソヘリカメムシ
(R6新寄主)



幼虫

クサギカメムシ
(R7新寄主)



ブチヒゲカメムシ



従来の発生種



ナカグロカスミカメ



エゾアオカメムシ

- ・R7大型カメムシが道南、道央で大量発生
- ・莢に口針をさし子実を吸汁
- ・複数種が長期間加害
- ・着莢～黄熟期を守る薬剤散布
- ・マメシンクイガ防除のジアミド系剤はカメムシ類に効果なし

果樹の大型カメムシ類



ぶどう葉上のチャバネアオカメムシ



カーランツを加害する
チャバネアオカメムシ
(R7新寄主)



ブチヒゲカメムシ
(R5ぶどうで新寄主)

6月から様々な果樹で多発
森林、雑草地で越冬、圃場に飛来
生態は分からないことが多い

- ・袋掛けも有効
- ・HPの発生情報（予察調査を開始します）
- ・実被害なら薬剤散布
- ・ただし、ピレスロイド系は天敵にも影響

詳細は北海道病害虫防除所のホームページで
ご確認ください

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>



連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 予察診断グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp